

< 参 考 資 料 >

福島第一原子力発電所 2号機 原子炉注水量低減の進捗状況について

2017年3月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

- 汚染水処理設備の余剰分を確保する一つ的手段として、1～3号機の原子炉注水量を低減
 - 1号機について、2016年12月～2017年1月に注水量低減を実施（完了）
 - 3号機について、2017年2月に注水量低減を実施（完了）

 - 2号機について、2017年3月7日に注水量低減を実施（完了）
 - ＜ステップ1＞ 目標注水量 4.5m³/h ⇒ 4.0m³/h※
操作実績 3月7日 10:17～10:25
⇒ 原子炉圧力容器底部温度、格納容器内温度等のパラメータに、大きな指示上昇はなく、冷却状態に異常なし

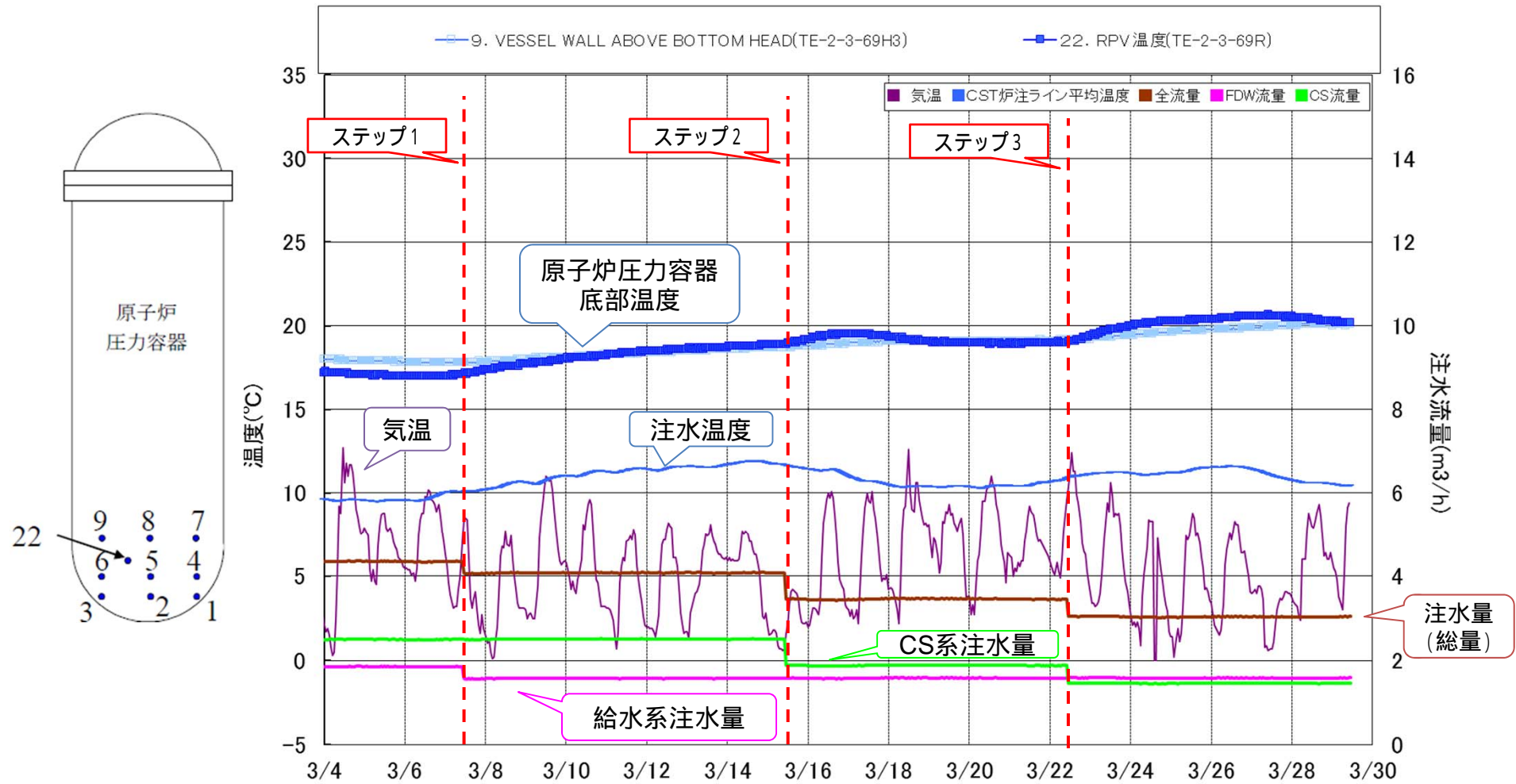
 - ＜ステップ2＞ 目標注水量 4.0m³/h ⇒ 3.5m³/h※
操作実績 3月15日 10:31～10:45
⇒ 原子炉圧力容器底部温度、格納容器内温度等のパラメータに、大きな指示上昇はなく、冷却状態に異常なし

 - ＜ステップ3＞ 目標注水量 3.5m³/h ⇒ 3.0m³/h※
操作実績 3月22日 10:10～10:23
⇒ 原子炉圧力容器底部温度、格納容器内温度等のパラメータに、大きな指示上昇はなく、冷却状態に異常なし

※ 実際の注水流量は日常的な流量変動等により異なる場合がある

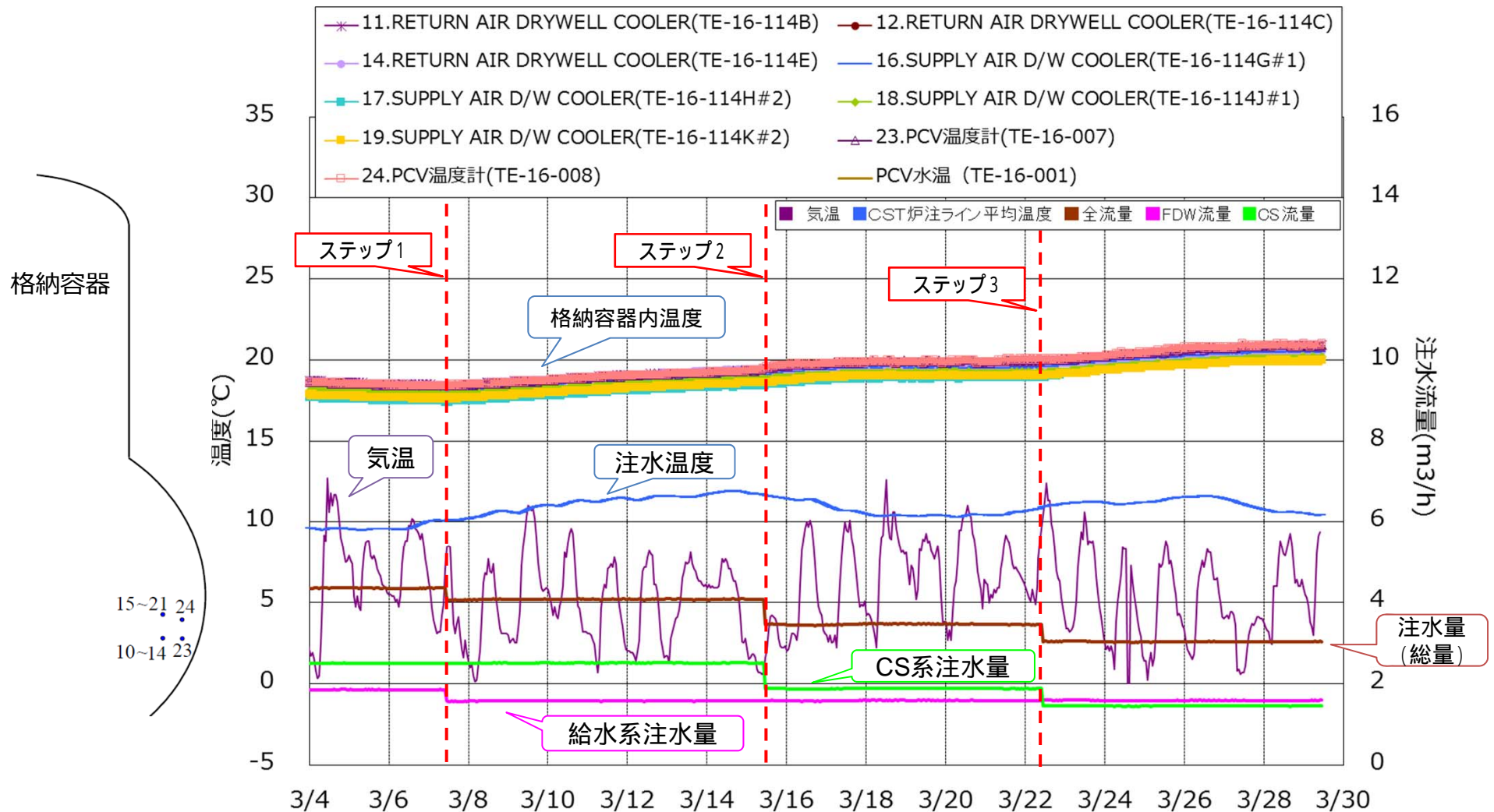
2号機 原子炉圧力容器底部温度の推移

- 原子炉圧力容器底部温度に大きな温度上昇なく、冷却状態に異常なし



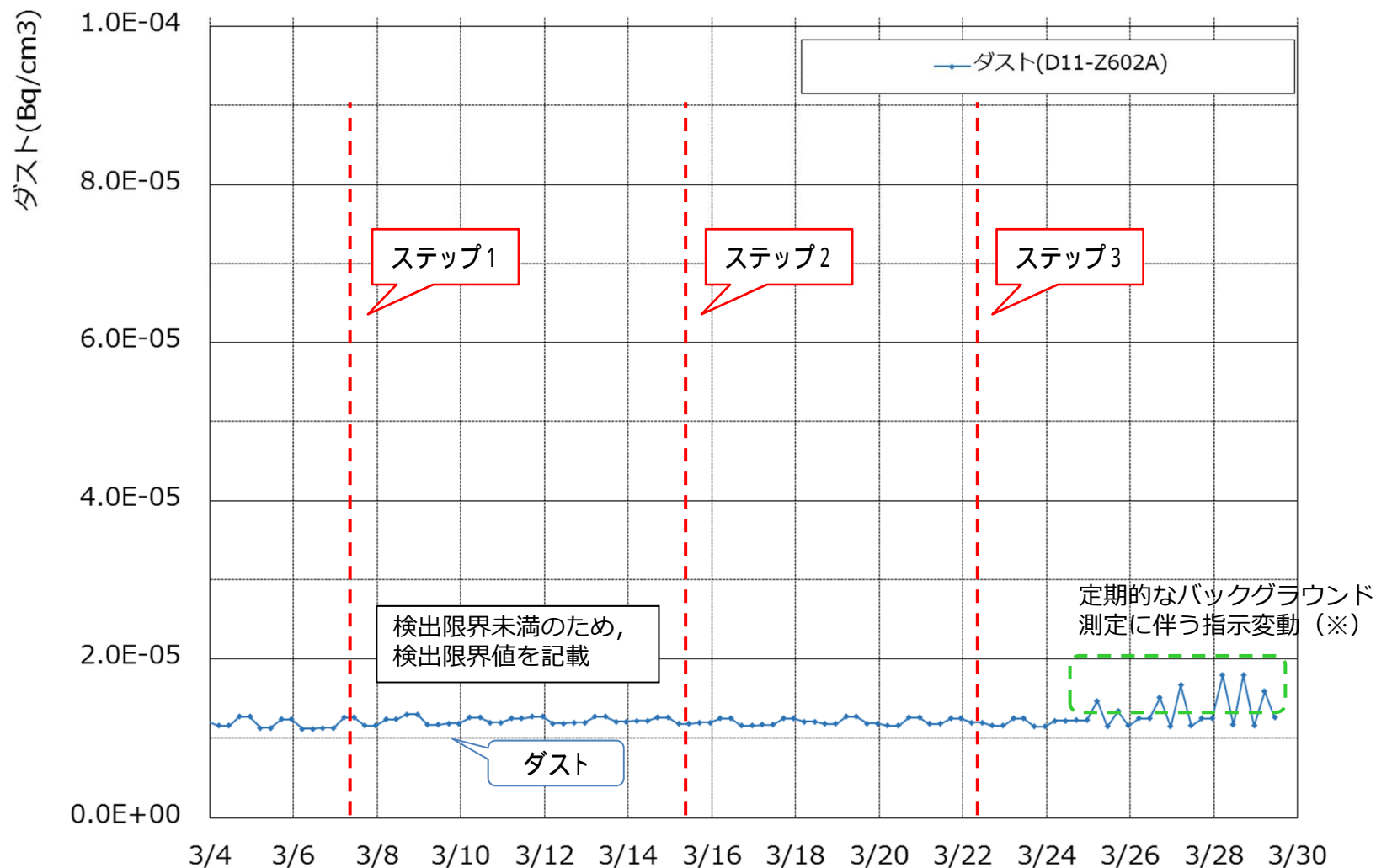
2号機 格納容器内温度の推移

- 格納容器内温度に大きな温度上昇はなく、冷却状態に異常なし



2号機 ダストモニタ指示値の推移

- 格納容器ガス管理設備のダストモニタ指示値に上昇なく、冷却状態に異常なし



※ ダストモニタは定期的にバックグラウンドを測定している。(約12時間毎)
2号機では、計算上、バックグラウンド測定直後の指示値が高くなるが、実際のダスト濃度変化ではない。